

農業経営部会通信

64号

例会報告

十勝農試の最近の研究動向

10月20日、農業新技術・新作物グループは、「十勝農試の最近の研究動向」をテーマに例会を開催しました。十勝農業試験場で進められている最新の研究成果について学びました。十勝農業試験場 木村氏は「畑作物に対する可変施肥およびセクションコントロールの効果」と題し、十勝農業試験場 石倉氏は「秋まき小麦の可変播種技術による生産安定化」と題し、それぞれ報告。可変播種・施肥の可能性について学びを深めました。



オホーツク視察例会 陸稲栽培の可能性について

11月25日からの1泊2日で、農業新技術・新作物グループは、オホーツク地域を視察し、陸稲栽培の可能性について学びました。道内の陸稲栽培における先進的経営体である、今井ファームと福田農場F4を訪れ、栽培の現状や課題、今後の展望などを共有しました。十勝での陸稲の栽培可能性についてこの機会に学びを深めました。



今井ファーム 今井代表



福田農場F4 福田代表

農業経営部会今後の予定

収穫もひと段落を迎え、農業のハイシーズンが終わろうとしています。農閑期、学びの季節に入ります！

(今後の予定)

12/10 日本食農連携機構・同友会とかち支部農業経営部会
連携協定締結10周年記念事業